

(一社) B-biz LINK 平成 30 年度臨時総会・臨時理事会

■日 時 平成 31 年 3 月 25 日 (月) 13:30~15:00

■場 所 南部児童館 (B-biz LINK の隣室)

■出席者 理事：阿南理事長、久保理事、佐藤理事、木村理事、千寿理事、伊藤理事
監事：岡松監事、手島監事、河村監事
新規理事：田島怜子理事 (総会にて承認後に参加)

○理事長挨拶 阿南副市長：今日はお集りいただきありがとうございます。市民・学生同窓会 合わせて 1 万人が来ました。別府に流れが来ております。今日は盛りだくさん協議事項がありますが、よろしくお願い致します。

○臨時社員総会

・理事の選任について

皆様にはお知らせをさせていただいておりましたが、昨年末に BEPPU PROJECT の利光理事が退任されました、BEPPU PROJECT とは 4 B i 事業で「新しい土産物」を共に開発するなど連携をさせていただいております。今後とも色々な場面で意見をいただくため、山出代表に新しい候補者の推薦をお願いしておりました。定款第 18 条の規定によりここに提案させていただきます。

【NPO 法人 BEPPU PROJECT クリエイティブディレクター 田島怜子氏】
の承認。《→承認 (全会一致 意見なし)》

・田島怜子氏着任挨拶

BEPPU PROJECT では一番長いスタッフということで、主に情報誌の製作や WEB サイトなど情報媒体の製作や商品開発のディレクションを担当させていただいております。4 B i 事業等の発展の一助となれば幸いです。今後ともよろしくお願い致します。

○臨時理事会

(1) 社員の承認について

先ほど、理事として承認いただきました田島さまにつきましては前段として B-biz LINK の社員となつていただく必要があります。定款第 4 条で社員として承認。《→承認 (全会一致 意見なし)》

(2) 平成 30 年度 事業中間報告

各事業の説明

- ① 起業創業支援事業（別紙資料参照）
- ② 空き家対策事業（別紙資料参照）
- ③ 移住定住事業（別紙資料参照）
- ④ 販路開拓支援事業（別紙資料参照）
- ⑤ 別府国際大同窓会の開催（別紙資料参照）
- ⑥ インバウンド対策事業（別紙資料参照）
- ⑦ マーケティング事業（別紙資料参照）
- ⑧ ICT等を活用した観光産業の生産性向上事業（別紙資料参照）
- ⑨ 人材育成事業（別紙資料参照）
- ⑩ アクティビティ創出事業（別紙資料参照）

〔質問〕

理事：ベップニュースタンドの売上が年間で8000万でかなり伸びた印象であるが、その内ふるさと納税の返礼品としてはそのうちのどのくらいか。

事務局：ふるさと納税自体はそんなに実績がでていない。単価の安いものから高いものがあるのでセットにした形で改良を重ねている。

理事：店頭売りを中心に8000万円売れたのか。

事務局：ベップニュースタンド認知の拡大を市内でひろげていて。東急ハンズなどは先方からアプローチが来た。今後も継続を続けていきたい。新しいところではトキハにもこの商品を置いていただけると話をしている。

理事長：4月5日にできる、駅前の外国人観光案内所には入れるのか。

事務局：入れる予定。商品数は厳選する。50アイテムあるので商品を入れ替えながらやってみる。

理事：了承。

理事：ニーズの調査、イリーの導入やそれぞれの結果はいつ出すのか。

事務局：調査ものの資料が多いので抜粋している。HPで公開している、観光客の動向などでているのでホテル経営者には役にたつので何らかの形で発表する。

理事長：関係者にもわかるようにしていただきたい。HPにあげているといってもなかなか行き届かない。

事務局：了承。

理事：コワーキングスペースについて詳細が聞きたい。

事務局：明後日、内覧会をする。コワーキングスペースを作ろうという起点ではなく、鉄輪のむし湯のエリア湯治宿が昔からあったエリアで、今、湯治という文化がなくなっている中

で、今の社会に合わせて何かあれば長期滞在の形ができていくのかを地域の方々と1カ月話あってコワーキングスペースがいいなとなった。風呂本井田周辺には宿やカフェなどが点在している、働くスペースを作ってエリア全体を研修所とみたくて、首都圏の起業家が働きながら滞在するワーケーションといった形で展開できないか考えている。1階の狭いスペースなのでMAX15人くらいしか入らないところであるが、まず今回小さく始めてみて5～6年フェーズを進めていって今後広く展開できればと思っている。旅行者の方も使えるし、法人の方も使える。

理事：都市部への方たちにはどうやってアプローチしていくのか。

事務局：別府で支社を立ち上げているアジアクエストさんと一緒に東京の企業へアプローチをしている。三菱総研さん、INCFという未来共創イノベーションネットワークを立ち上げていまして、大企業さんやベンチャーさんと別府をフィールドとして何かできないかとアプローチもしている。

理事：宿とパッケージでワーケーションとかをプログラムとして提案できないのか。

事務局：それも考えている。営業しているが、窓口としてコーディネートする人間がいないと煩雑に扱われてしまうので、ワーケーションであれば観光のコンテンツであったり、働く場所であったりとかプログラムとして提案できないか検討している。

理事：はじめてですね、こういう取り組みは。素晴らしいと思います。

事務局：湯治宿が1泊や長くて2泊が増えていて、湯治宿の本音は一週間滞在してほしいという女将さん達の考えもあるのでそこがうまくWINWINになればいいなと思っています。

(3) 平成31年度 事業計画

①コワーキングスペース管理運営事業（別紙資料参照）

②販路開拓事業（4 B i）（別紙資料参照）

③人材育成事業（別紙資料参照）

④誘客推進事業（インバウンド誘客）（別紙資料参照）

⑤誘客推進事業（国内誘客等）（別紙資料参照）

⑥ラグビーWCオリジナルファンゾーン事業

☆入湯税超過課税充当事業…8000万円をB-b i z L I N Kで受託

①駅前情報 cafe 管理運営事業（別紙資料参照）

②入湯税超過課税を活用してのプロモーション事業（別紙資料参照）

事業概要

- (1) 別府版DMO機能充実のための新規人材の雇用
- (2) 別府インターナショナルプラザの組織強化
- (3) 北九州空港～別府への直行バス路線運営事業
- (4) ランドオペレーター事業

(5) 観光マーケット育成事業

(4) 平成31年度予算(案)

事務局より資料(11~14P)説明

〔質問〕

理事:①ラグビーWCイベントでJR九州が博多駅前の大規模スペースと小規模スペースでイベントを検討しているせつかなので連携したらいいのではと思いました。

いらっしゃる人達がどこに宿泊するのか、別府単発でやるより、熊本や福岡と連携してやればいいと思う。

②BizLINKとして1年たってマネタイズの兆しがあるのか、どうなのかなど。リアリティのある部分を話したい。

事務局:ワールドカップに関しては、今日も大分県から連絡があり、宿泊場所が足りない状況。ほぼ、半年前に近づいてくるので小さな旅館とOTA(オンライン)での販売に移っていく分がでてくるのでそこを待たないといけない状況。

キャパの大きい旅館ホテルについては手配できる分に関してはヒアリングやマッチングをやっていく。旅館ホテルへのヒアリング、部屋出しのお願いはしていきたい。他の開催地との連携はしていきたいと思っている。

理事長:6000室で1万2千人とっている。実際は個別で積み上げているのか。

事務局:県はJTBのしているホテルバンクの分しか把握していないと思う。

理事長:個別に聞いてもわからない?

事務局:チケット販売数で推計していくしかない。チケットを持っている人が予約をしているかどうかも見えない。

理事:ホテルバンクに出しているのは全部マッチングできているのか。

事務局:マッチングは終了していて、マッチングできていないところは旅館ホテルに部屋を返している。

理事:みんな疑心暗鬼になっている。どの金額で売れているのかその情報があると助かる。お宿さんの値段についてもバラバラ。部屋を出せ出せいっていて違和感を感じる。

事務局:データをおおやけには出してくれない。こちらも出せ出せと言っている状況。

事務局:先日の議会で野上議員が一般質問で盆と正月の値段がずっと続くような状況なのでありがたいと言っていた。単価が正月料金より上の金額でだしても売れると言っていた。各ホテルによって、異なるのかなとは思いますが。議会でもそういったやりとりがあった。

理事:かなり上の料金で出していると聞いている。

理事:サッカーの時はどうだったのか?

理事:サッカー以上。サッカーは期待だけが行き過ぎて、イタリア戦以外は満室にもならなかった。まだ疑心暗鬼で出していない旅館が多い。望海としては海外OTAとの契約は0。

実験的に2月のなかばからじゃらんネットオンリーで出している。通常の1泊2食14000円を1泊朝食17000円を出してみた。いろんな社長から安すぎると怒られた。ただ、OTAの比較サイトでみると別府の宿でほぼ倍で出しているのが現状かなと思います。1部屋10万でだしているところも見た。

事務局：旅行会社のオーストラリアとフランスから連絡がある。気を付けないといけないのがオーストラリアはデポ入れてもキャンセルする可能性がある。うちの方でも見極めてやりたい。別府の料金は異常だという旅行会社もいる。

理事：当初、県も金額を上げていくらでもいいからだしていいとおおっていた部分もある。

理事長：その辺は見極めながらやっていただきたい。

理事長：組織上の課題について議論をしたい。入湯税を財源として観光の新規事業のなかで観光マーケットを育成とかのお話できるところを話してください。

事務局：平成30年度の事業は全て市からの委託。市でやる予定だった事業をB－b i z L I N Kでやることになったものが多かった。

31年度はいくつか市に返そうとしている。空き家バンクの登録サイトがある18軒ぐらい登録がある。町村部にいくと古民家や農業をしたいとかのニーズがあるが、別府の場合は温泉があって移住したくて値段が安いので空き家バンクを利用したいというニーズが多い。町村部だと不動産会社がないけど、別府の場合だと不動産会社にのらないような物件を扱っているという現状がある。売れない、貸せない物件ばかりでこの分野については返したい。5年後、10年後に3次産業を軸にしている産業構造をどうやって変えていくかというのをゴールとしたときに、この1年間業務内容が多岐にわたっており、広い範囲でターゲットを絞れてなかった。委託を受けているので空き家バンクの管理やお試し施設の運営などをしてきたが、どの層にアプローチをするべきかどうかを1年間考えた。

その中で起業創業支援とお試し移住施設運営と空き家バンクの管理、4 B i の事業が3年間やることになっていて実施してきたが、来季に関してはターゲットを絞る、別府の課題を解決できるイノベーション人材にターゲットを絞った。その第一歩として鉄輪にコワーキングスペースを作った。1年間実施してきて、市役所がやることとビズがすることがうまくわけられていない。しっかりターゲットングしていきたい。

理事長：市役所の下請けではなくて、知恵を使って市でできない仕事をB－b i z L I N Kがやる。来年度事業で別府版DMO機能充実のためのCEOを雇用する。秋以降にはそういう人材が来てやってもらう。観光マーケットの人材を育成して将来的にはB－b i z L I N Kに入ってもらえるようにする。5月にはさまざまなことについて議論できるようにする。

(5) (一社) 別府インターナショナルプラザの吸収合併について

事務局：別府インターナショナルプラザは京町のAPUプラザに入っており、主に観光案内

所と多文化共生事業をしている団体である。現状2本の事業をしており、市からの受託をしている。事務局運営の公費依存率は8%であり、92%はチケットの販売等で賄っている。チケット販売等による収益事業や収益拡大のための業務増加をしているが、不足分は役員4名の報酬のカットや案内所配置人員数の抑制(3名置きたいところを2名)で対応している現状。語学教室もコマ数をやりたいが削減したり、講師の謝礼を削減したり、スタッフの負担が増えており、配置人員数抑制による観光案内サービスの質の低下、慢性的な役員報酬カットによる次の代を担う方がたへの組織継続性の不安がある状況。B-bizLINKと一緒にやっていけないかということ協議してきたが、先方もぜひということ合併の話をしている。

・合併基本事項及び趣意(案)(別紙資料参照)

・吸収合併契約書(案)(別紙資料参照)

・体制図(案)(別紙資料参照)

地域ビジネスプロデュース、観光マーケティング、BIP事業部

・BIP事業部 2019年予算(案)

(一社)別府インターナショナルプラザの吸収合併について«→承認(全会一致)»

[質問]

理事長：駅前カフェができて案内所も継続するのか。

事務局：継続します。ミスタードーナツの跡、ロッテリアの隣にツーリスツハブ&ラウンジ WANDER COMPASSというラウンジスタイルの案内所を別府インターナショナルプラザ、東急電鉄、Huber. とB-bizLINKで運営する。B-bizLINKも両替機やドリンクで利益を立てながら運営していく。

従来のカウンターでの相談ではなく、ラウンジスタイルでアクティビティの紹介や販売、ドリンクコーナーや、Wi-Fi、充電もできる。旅マエでタッチできないことがない。

渋谷と京都タワーのことでやっているのだからそこからの流入も期待できる。データをとると訪日回数が5回目6回目という方が多い。少しでも早く、九州に来てもらいたいと思っている。来た人達を満足させることができる。

理事：収益の何%が東急に？

事務局：総売り上げの5%。売上はなかなか立たないが。

理事：現状の駅の案内所との客の奪い合いにならないか？

事務局：今あるのが2箇所で観光協会がやっている国内とBIPがする外国人観光案内所で簡単な案内とチケット販売所。しっかりすみわけをしていく。

理事：人が殺到していて、とにかく並ぶ。並ぶとしっかり案内できない。満足度に影響する。別府の良さを分からずに帰ってしまっている現状がある、観光を強化する役割としてやっていく。

理事：お客さん目線で混同しないようにしてもらいたい。

理事長：B I Pは、負債はないのか。

事務局：現時点では負債はない。